

麻痺性斜視と非麻痺(共同)性斜視の鑑別

丸尾敏夫:視能矯正学改訂第2版 P207 に一部加筆
視能学第2版 P315

	麻痺性斜視	非麻痺(共同)性斜視
発病	急激のことが多い。徐々か先天性のこともある	通常先天性か徐々。急激のことは少ない
発病年齢	無関係	小児
複視	しばしばある	通常ない
両眼視異常・弱視	通常ない	しばしばある
第1偏位と第2偏位	第2偏位が大きい	同じ
共同性	ない	ある
異常頭位	しばしばある	まれ
回旋斜視	上下筋麻痺でしばしばある	A-V型斜視以外まれ
神経学的異常	しばしばある	通常ない
定位の誤認	初期にしばしばある	ない